

年 月 日現在

写真はノリで添付せず クリップで止めてください。	ふりがな わたなべ としゆき	男・女
	氏 名 渡辺俊之	印

--

年	月	日	学 歴	免 許
1978	3		群馬県立中央高等学校理数科卒業	
1979	4		東海大学医学部入学	
1986	3		東海大学医学部卒業	医師免許取得 (1986年5月22日) (医籍登録番号第 297180)
1991	5			精神保健指定医

年	月	日	学 位
2000	3	24	<p>医学博士 学位論文題目：在宅高齢患者と介護者における QOL と家族環境についての研究</p> <p>要旨 在宅ケアを受けている 65 歳以上のリハビリテーション患者 (n=229) と家族 (世帯数 = 84) を対象として、障害度するための Barthel Index、自己記入式 QOL 質問表 (QUIK)、家族環境尺度 (FES) を用いて、高齢患者と家族環境の相互関係について、対照群である健康高齢者 (n=253) と家族 (世帯数 = 89) について QOL を比較検討した。</p> <p>患者家族群における高齢者と介護者の QOL と家族環境の相関関係は、対照群とは異なっていた。家族に在宅高齢患者が出現すると、家族成員の QOL と家族環境 (凝集性、組織性、表出性) との相互作用が強まることが示唆された。家族の凝集性、組織性、表出性が高くなると高齢患者も介護者も QOL が高くなる。高齢患者と介護者の高い QOL を維持していくためには、介護家族の特性を理解し、凝集性 (まとまり具合)、組織性 (役割分担)、表出性 (コミュニケーション) を高めるような家族支援が必要になる。</p>

記入注意 (1) 手書きの場合、黒インク (黒ボールペン) ・楷書 ・算用数字を使用のこと。ワープロ使用可。
(2) 学歴は高等学校卒業から記入のこと

年	月	日	職歴
1986	5	1	東海大学医学部前期研修医 精神科、小児科、救命救急センター、神経内科、リハビリテーション科
1988	4	1	東海大学医学部精神科後期研修医 精神分析的精神療法、家族療法、集団療法、コンサルテーション・リエゾン精神医学
1990	4	1	東海大学医学部精神科助手（常勤：1990—1992） 皆川記念病院（出向：1993～1995）、精神科リハビリ担当、医学科学生指導 相州病院（出向：1996-1998）精神科リハビリ（作業療法、認知症の回想法）、PSWとOTのスーパービジョン、医学科、看護学科、社会福祉学科の学生指導
1998	4	1	東海大学医学部精神科助手（常勤：1998-2000） 副病棟医長（1998～1999）、診療問題懇話会委員（1999～2000） 医学部校舎親交会委員（1990～2000）、クリニカルクラークシップ推進委員（2000～2001）、湘南校舎保健管理センター担当医（2000～2003）
2001	4	1	東海大学医学部講師 精神科教室幹事、教育計画部教育研修委員、学士入学試験委員 2003年度 ベストティーチャー
2004 ～ 現在	4	1	<p>1、高崎健康福祉大学（火曜日～金曜日）</p> <p>①健康福祉学部社会福祉学科教授 担当科目：精神保健福祉援助演習、精神保健援助実習指導ⅠⅡⅢ、精神保健学、精神医学、医学概論、精神科リハビリテーション学、現代保健福祉問題入門、精神保健福祉演習、卒業論文 精神保健福祉士実習学生（毎年10人前後が履修）への就職支援 PSWとして就職した既卒生（実習指導担当）は、1期生2名（群馬、宮城）、2期生2名（群馬）、3期生3名（群馬）、4期生2名（新潟、静岡）、5期生3名（群馬、栃木、神奈川）、MSWは4期生1名（群馬）、6期生（2010年度卒業予定者、MSWに1名内定）</p> <p>②保健福祉研究科教授； 修士と博士共に\textcircled{C}教員 保健福祉学修士指導教官 修士取得者のテーマ（学生の希望する内容を指導） 1）保育所保育士における家族支援の役割（2006） 2）スーパービジョンにおける家族療法的視点の内在化（2006） 3）リハビリテーション看護におけるジェノグラムの有用性（2007） 4）多職種で構成されるグループ・スーパービジョンの質的研究（2007） 5）看護教育における「語りワーク」の有用性（2008） 6）保健室登校への養護教諭の支援のあり方に関する研究（2009） 7）精神保健福祉士の仕事体験に関する研究（2009） 2010年度 1人の修士論文が審査予定 保健福祉学博士指導教官：後期課程学生1人の博士論文が審査途中（2010）</p> <p>③子ども・家族支援センター設立と運営 文科省私立大学学術研究高度化推進事業の助成金3000万を獲得（代表：平山宗宏、プロジェクトリーダー渡辺俊之）、2008年にセンターの運営を開始。目的は子どもと家族の支援、学内共同研究の推進、大学院生教育（関連研究論文を業績欄に記載）</p> <p>④その他 研究倫理委員会副委員長（H18-H21）、遺伝子組み換え委員、メンタルに問題がある学生への個別支援・相談、卒業生PSWのメイリングリスト管理、卒後相談</p> <p>2、東海大学医学部非常勤教授・同付属病院精神科 医師（月曜日） 医学部5年生実習グループ別講義（隔週） 医学部2年（人間関係学）と4年（精神医学）に年1回の講義、 看護学科2年（精神保健）に年1回の講義 診療：一般外来、精神分析的精神療法、介護家族カウンセリング（毎週）</p>

年	月	日	学 会 活 動
1989～ 現在	5		日本精神神経学会 会員 発表、座長 シンポジスト 身体症状を伴う境界性神経障害の入院治療—他科連携と医療チームの構造化—第94回日本精神神経学会(1998) 資格：日本精神神経学会専門医(2009～)
1991～ 現在	3		日本精神分析学会 会員 発表、教育研修セミナー講師、助言者 資格：日本精神分析学会認定スーパーヴァイザー、同認定精神療法医(2000～)
1992～ 現在	5		日本家族研究・家族療法学会 会員 評議員 発表、座長、コメンテーター シンポジウム：身体疾患患者への家族アプローチ、第14回日本家族研究・家族療法学会(1998) 大会長講演「介護家族支援」 第23回日本家族研究・家族療法学会高崎大会(2006) 教育研修委員、国際交流委員(2004～2006) 教育研修委員・資格制度検討委員会、学会誌編集委員(2007～2009) 学会誌編集委員長(2010～現在) 第3回K-J(韓日)家族療法ケースカンファレンス、事例提供(2007 ソウル) 地域ワークショップ福島：ワークショップ講師(2003) 同 山梨：同(2007) 同 山形：同(2008) 第2回アジア家族研究・家族療法協会シンポジウム(2010) 座長 第4回k-J(韓日)家族療法ケースカンファレンス、事例提供者(2010 東京) Psychopathology of caregiver depression
2007～ 現在	10		日本社会福祉学会 会員 口頭発表(共同発表、2008、2009)
2006 現在	10		日本保育学会 会員 ポスター発表(共同発表)、口頭発表(共同発表者)、座長(2009、2010)
1992～ 2008 退会	3		日本総合病院精神医学会評議員(1995～2008) 口頭発表、座長 シンポジスト 大学病院精神科における短期入院の試み 第二回有床総合病院精神科フォーラム(1999) 資格：日本総合病院精神医学会指導医・認定医(2000～2008)
2008～ 現在	3		日本児童青年精神医学会 会員 口頭発表(2010)
2001～ 現在	4		日本集団精神療法学会 会員 口頭発表(2001)
1990～ 現在	4		日本サイコネフロロジー研究会 会員 世話人 (透析・腎移植における心理社会的問題を議論する研究会であり、参加者500から700人、医師、看護師、MSW、技師などがメンバー) 発表、座長 関連学会シンポジスト Family Dynamics and Decision Making from Living Donors、第13回精神研国際シンポジウム(1998)
2005～ 現在	10		日本リハビリテーション心理研究会 会員 副会長 (身体障害者・身体障害児の心理的問題やリハビリテーション医療における心理的問題を議論する研究会、医師、看護師、PT、OT、MSWなどがメンバー) 座長 ワークショップ講師 教育講演講師

			社会への貢献
2007 ～ 2010	4	1	厚生労働省 理学療法士・作業療法士国家試験作成委員
2008 ～ 現在	4	1	独立行政法人労働者健康福祉機構 群馬産業保健推進センター メンタルヘルス担当相談員
2006 ～ 現在	4	1	障害程度区分審査会委員 (群馬県玉村町)
2010 ～ 現在	6		ケアラー (家族など無償の介護者) 連盟 施策実現のための共同研究者 平成 22 年度：厚労省老人保健健康増進等推進事業による全国ケアラー実態調査についての調査票作成
2009	9	21	学会招聘講演 NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク、第 15 回全国のつどい 市民公開講座「ケアする家族の心のケア」
2008	9	19	学会招聘講演 日本デイケア学会第 13 回年次大会 教育講演 1 「高齢者の家族の理解と支援」
2008	7	4	学会招聘シンポジスト 第 13 回緩和医療学会学術大会シンポジウムスタッフのメンタルヘルス：バーンアウトしない・させないためにー 「バーンアウトと逆転移」
2006 ～ 2007			介護関連の裁判 介護殺人裁判における参考意見陳述
2004 ～ 2006			介護関連の裁判 認知症者の養子縁組認定責任能力についての意見書、参考意見陳述、反論書
2002 ～ 現在			NPO 介護者支援団体アラジン理事、スーパーヴァイザー 「ケアする人のケア」介護者へのメール相談員 (2002, 2004) がんばらない介護生活を考える会賛同者 認知症と家族の会 (群馬支部)
1990 ～ 1998			横浜いのちの電話 医療相談員、講師
2004 ～ 現在			<その他の社会的貢献活動> 1) 介護者・介護家族の心のケアについてのコメント、取材、対談 テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など 2) 高齢者、介護者、リハビリ患者の心理的問題に関連した講演 福岡、山形、福島、石川、福島、宮城、長野、新潟、東京、神奈川など 3) 透析医療・腎移植医療の心のケアに関連した講演 名古屋市、京都市、春日井市、市原市、さいたま市、伊勢原市など 移植コーディネーター研修講師 4) 学校メンタルヘルスや産業メンタルヘルスに関連した講演 前橋市、太田市、高崎市など 5) 群馬県内の国際結婚家族への子育て支援 国際結婚家庭の面接調査、国際結婚児の心身状態の調査と支援、国際交流のためのコンサート企画、県内の国際交流フェスティバルへの協力

著書目録

著書 (書籍)	発行または 発表年月		発行所・発表雑誌等 または発表学会等の名称
	年	月	発行所
単著			
渡辺俊之：希望のケア学	2009	9	明石書店
渡辺俊之：介護で幸せになる	2007	7	山海堂
渡辺俊之：うちの親、こころの病気と思ったら読む本	2007	3	中央法規出版
渡辺俊之：介護者と家族のこころのケア	2005	5	金剛出版
渡辺俊之：ケアを受ける人の心を理解するために	2005	1	中央法規出版
渡辺俊之：ケアの心理学	2001	10	KKベストセラーズ
渡辺俊之：ソーシャルワーカーのための老年医学	1999	10	日本社会福祉士会
共著	年	月	発行所
渡辺俊之、小森康永：バイオサイコソーシャルアプローチ	2014	7	金剛出版
佐藤武、渡辺俊之：メディカルサイコセラピー	2004	1	テンタクル
監修	年	月	発行所
渡辺俊之、松本英夫監修、千葉千恵美著：乳幼児のための保育と親への支援	2006	12	久美出版
編著	年	月	発行所
渡辺俊之：リハビリテーション医療と心理、リハビリテーション患者の心理とケア、渡辺俊之、本田哲三編、p1-13	2000	7	医学書院
渡辺俊之、物部長承：切断者、リハビリテーション患者の心理とケア、渡辺俊之、本田哲三編、p52-62	2000	7	医学書院
渡辺俊之：痴呆を伴うリハビリテーション患者、リハビリテーション医療と心理、渡辺俊之、本田哲三編 p127-136	2000	7	医学書院
渡辺俊之：リハビリテーション医療における治療関係、リハビリテーション医療と心理、渡辺俊之、本田哲三編 p147-152	2000	7	医学書院
渡辺俊之：障害者家族への関わり、リハビリテーション医療と心理、渡辺俊之、本田哲三編 p153-160	2000	7	医学書院
渡辺俊之、先崎章：精神症状への対処、リハビリテーション医療と心理、渡辺俊之、本田哲三編 p215-226	2000	7	医学書院
渡辺俊之：リエゾン精神医学の活用、リハビリテーション医療と心理、渡辺俊之、本田哲三編 p250-255	2000	7	医学書院
渡辺俊之：力動精神医学、リハビリテーション医療心理学キーワード、才藤栄一、渡辺俊之、保坂隆編、p8-14	1995	9	エヌ&エヌ パブリッシング
渡辺俊之：転移と逆転移、リハビリテーション医療心理学キーワード、才藤栄一、渡辺俊之、保坂隆編、p96-98	1995	9	エヌ&エヌ パブリッシング
渡辺俊之：依存と自立、リハビリテーション医療心理学キーワード、才藤栄一、渡辺俊之、保坂隆編、p99-102	1995	9	エヌ&エヌ パブリッシング
渡辺俊之：心の子ども返り（退行）、リハビリテーション医療心理学キーワード、才藤栄一、渡辺俊之、保坂隆編、p56-58	1995	9	エヌ&エヌ パブリッシング
渡辺俊之：精神療法、リハビリテーション医療心理学キーワード、才藤栄一、渡辺俊之、保坂隆編、p111-118	1995	9	エヌ&エヌ パブリッシング
渡辺俊之：家族力動、リハビリテーション医療心理学キーワード、才藤栄一、渡辺俊之、保坂隆編、p143-145	1995	9	エヌ&エヌ パブリッシング
渡辺俊之：家族システム、リハビリテーション医療心理学キーワード、才藤栄一、渡辺俊之、保坂隆編、p146-150	1995	9	エヌ&エヌ パブリッシング
角谷直彦、渡辺俊之：慢性関節リウマチ、リハビリテーション医療心理学キーワード、才藤栄一、渡辺俊之、保	1995	9	エヌ&エヌ パブリッシング

学術論文目録

学術論文	発行または 発表年月		発行所・発表雑誌等 または発表学会等の名称
	年	月	発表雑誌
原著			
栗原由佳、渡辺俊之：小脳出血の姉、介護に追い詰められた家族へのメディカルファミリーセラピー	2009	8	家族療法研究、26(2)、 p146-155
三上克央、猪股誠司、早川典義、玉井康之、市村篤、渡辺俊之：思春期自殺企図に対する自殺再企図防止のための家族アプローチ	2009	4	家族療法研究 26(1)、p56-63
千葉千恵美、渡辺俊之、平山宗宏、田島貞子：「親子ふれあい教室」が母親の気分状態に与える影響	2009	3	高崎健康福祉大学紀要 8 p37-48
千葉千恵美、渡辺俊之、平山宗宏：国際結婚の母子への子育て支援	2008	12	健康福祉研究 5 (1) p25-36
伊藤利恵、渡辺俊之：保育ソーシャルワークの展望	2007	3	健康福祉研究 4 (1)、p29-40
千葉千恵美、鑑さやか、渡辺俊之：保育所保育士による家族支援—27 例のケース検討会から	2007	3	高崎健康福祉大学紀要 6、 p91-104
千葉千恵美 渡辺俊之 鑑さやか：保育における子どもの心の理解—虐待アンケートと描画の分析—	2006	12	近畿大学豊岡短期大学論集 3、p89-103
千葉千恵美、渡辺俊之：がんの母親と不登校の娘への家族療法—メディカルファミリーセラピーの実践	2004	8	家族療法研究 21(2) 、p130-137
上田さとみ、鳥羽知恵美、名波愛、堀口ゆかり、渡辺俊之、仁科良、石田直人、我妻正子：CAPD の看護・介護 CAPD 患者における気分状態に関する検討 POMS を用いて	2004	7	腎と透析 57 巻別冊、腹膜透析 、p199-201
名波愛、鳥羽知恵美、上田さとみ、堀口ゆかり、渡辺俊之、仁科良、我妻正子：CAPD の看護・介護 CAPD 患者の気分状態の傾向と分析	2004	7	腎と透析 57 別冊、腹膜透析 p186-188
渡辺俊之：リエゾン精神医学における家族アプローチ	2003	5	総合病院精神医学 15(2)、 p141-148
T.Watanabe、S.Hiraga: Influence on Family Psychodynamics on Spousal Kidney Transplantation	2002	6	Transplantation Proceedings34 (4) P1145—1147
渡辺俊之：身体疾患を合併した境界性人格障害の入院治療—他科連携における治療の構造化—	1999	11	臨床精神医学 28 p1381-1388
渡辺俊之：在宅高齢者と介護者のQOLと家族環境についての研究	1999	10	精神医学 41(10) p1079-1086
渡辺俊之；対象関係から見た境界例の身体化—呑気症を主訴とする境界例の精神病理と治療過程—	1998	5	精神分析研究 42 (5) p525—533
T.Watanabe、S.Hiraga :Psychiatric symptoms during the one week after renal transplantatio	1999	2	Transplantation Proceedings 31 (1-2) p251-253
Takashi Hosaka, Takayuki Aoki, Toshiyuki Watanabe, Toru Okuyama, Hisasi Kurosawa: Comorbidity of depression among physically ill patients and its effect on the length of hospital stay.	1999	2	Psychiatry and Clinical Neurosciences 53 p491-495
渡辺俊之、平賀聖悟、斉藤智子：透析患者における QOL と気分状態に関する検討—POMS と QUIK を使用して—	1998	5	心身医学 38(5) p340—345

渡辺俊之、鈴木淳、太田哲司：失語症と言語治療の心理的問題—精神障害を合併した外傷性失語の1例を通して—	1998	2	総合リハビリテーション 26(2)、p165—170
渡辺俊之、保坂隆、奥山徹、青木孝之、田中昭太郎：総合病院における「精神医学認識」	1997	1 1	総合病院精神医学 9(2) p124—130
渡辺俊之、平賀聖悟、佐藤威：腎移植後の精神症状発現に影響を与える諸要因	1996	3	精神医学 38(3)、p304-306
渡辺俊之、保坂隆、青木孝之、近藤直司：リエゾン精神医学における退行	1995	11	総合病院精神医学 7(2) p203—211
青木孝之、渡辺俊之、保坂隆、石田暉：身体的リハビリテーション患者と精神障害—リハビリテーション科患者の精神医学的検討	1995	9	心身医学 35(4) p308—313
渡辺俊之、保坂隆：がん患者家族の心理的問題—リエゾン精神医学のかかわり—	1995	4	癌治療と宿主 7(2) p167—172
Isao Fukunishi, Masatake Honda, Hiroshi Hasegawa, Kohichi Obayashi, Toshiyuki Watanabe, Seigo Hiraga : Incidences of Psychiatric Disorders before and after Kidney Transplantation: One-Year Follow-up Comparison of Adults and Children	1995	3	Neurology, Psychiatry and Brain Research Vol 3 , p125-128
青木孝之、渡辺俊之、保坂隆、石田暉：リハビリテーション科患者の精神科的評価	1994	9	総合リハビリテーション 22(9)、p763—765
渡辺俊之、狩野力八郎、尾中啓枝、篁一誠、平賀聖悟、佐藤威；夫婦間腎移植における精神医学的問題	1994	9	臨床透析 11(1) p153—157
渡辺俊之、池田公、長野広敬：リエゾン精神医学におけるシステム理論の臨床的意義	1994	6	臨床精神医学 23(6) p611—617
渡辺俊之：Psycho-Social Study 叔父からの死体腎移植を受けた患者	1994	6	臨床透析 10(7)、p945-949
青木孝之、近藤直司、渡辺俊之、保坂隆：リエゾン精神医学の教育的側面についての検討—リハビリテーション医療での実践を通して—	1994	4	総合病院精神医学 6(1) p42—47
渡辺俊之、田中博、石田暉：リハビリテーション医療における治療関係	1994	3	総合リハビリテーション 22(3)、p231—236
渡辺俊之：切断患者の障害受容	1994	10	総合リハビリテーション 22(10)、p837-841
Isao Fukunishi, Takashi Hosaka, Takayuki Aoki, Toshiyuki Watanabe: Depression in physical rehabilitation	1994	2	Neurology, Psychiatry and Brain Research 2、p123-125
Takashi Hosaka, Takayuki Aoki, Toshiyuki Watanabe, Akira Ishida: Psychiatric Evaluation of Rehabilitation Patients	1994	1	Tokai Exp Clin Med 19(1, 2):7-1
渡辺俊之、猪股丈二：遺糞症の箱庭療法	1993	12	神奈川県精神医学会誌 43、 p63—71
渡辺俊之、鈴木淳、安孫子修、青木孝之、保坂隆、狩野力八郎：失語症言語治療とコンサルテーション・リエゾン精神医学	1991	4	精神医学 33(4)、 p395—401
渡辺和子、神内拓行、鈴木淳、竹内佳美、石田暉、渡辺俊之：理学療法における患者—治療者関係についての考察	1991	12	理学療法学 18(1) p55—58
渡辺俊之、館哲朗：母親のうつ状態と長男の家庭内暴力が問題となった家族—システム的な家族療法—	1990	12	家族療法研究 7(2) p139—146
渡辺俊之：コンサルテーション・リエゾン精神医学 リハビリテーション	1991	10	精神科 M00K27、p105-111

渡辺俊之、保坂隆：リエゾン精神科医の条件	1990	11	総合病院精神医学 2(2)、 p145—151
渡辺俊之：患者の問題?看護婦の問題!「心理的ナーシング」とは何か 躁的防衛としての癌患者の明るさ	1990	5	看護学雑誌 54 (5)、p455-458
渡辺俊之：リハビリテーション科とのリエゾン	1990	11	総合病院精神医学 第2巻第2号 95頁—101頁
渡辺俊之、保坂隆、篠塚みち子：ナースのための心理的アプローチ(12) 人の足を何だと思ってるの、私の足を返してよ! 事故で片足を切断したTさんの対象喪失	1989	12	看護学雑誌 53 (12)、 p1154-1157
渡辺俊之、吉田学、森本章、鶴俊彦、保坂隆、伊賀富栄 白倉克之：バイオフィードバックの心身症への適応(多発性円形脱毛症の1症例を通して)	1988	2	神奈川精神薬理 2、p13—18
連載	年	月	発表雑誌
渡辺俊之：精神分析が解く当時者・介護者の心の世界 (4回)	2007		地域リハビリテーション、9 月号、10月号、11月号、12 月号
渡辺俊之：リハビリテーション心理学(1年)	2007		理学療法 22、(1)(2) (3)(4) 理学療法 23、 (5)(6)(7)(8)(9) (10)(11)(12)
臨床報告	年	月	発表雑誌
渡辺俊之：わたしの見立て「見立て違いと逆転移」	2008		家族療法研究 25(2) P170-174
総説	年	月	発表雑誌
渡辺俊之：原家族が私に残したこと	2010	9	家族療法研究 23 (2) 特集、 「家族療法家、原家族を語 る」、p163-166
渡辺俊之：介護はなぜストレスになるのか	2010	9	現代のエスプリ 519「介護は なぜストレスになるのか」、 渡辺俊之編、p5-26
渡辺俊之：介護と精神疾患	2010	9	現代のエスプリ 519「介護は なぜストレスになるのか」、 渡辺俊之編、p135-144
渡辺俊之：介護で壊れる家族	2010	9	現代のエスプリ 519「介護は なぜストレスになるのか」、 渡辺俊之編、p145-154
渡辺俊之：超高齢社会の希望学	2009	11	神奈川大学評論第 64 巻 特 集「日本社会の希望学」 p61-69
渡辺俊之：退行を起こす患者に対して	2009	11	透析ケア、特集「ストレス事 例からみえてくる「对患者」 「対スタッフ」関係がうまく いくコツ」、p1100-1104
渡辺俊之：介護ストレスへの理解と対応	2009	9	介護福祉冬季号、特集「介護 する人と利用する人の心の ケア」、p101-118
			(No. 7) (氏名 渡辺俊之)
渡辺俊之：境界例への家族療法—予後を改善させるための 家族への関与	2009	7	日本精神病院協会雑誌 28、 特集「パーソナリティ障害 への関わりを考える」(7)、 p41-45

渡辺俊之：心の防衛機構（依存、否認、躁的防衛、抑圧、置き換え、投影、知性化、合理化、分裂、行動化、昇華）	2009	3	透析ケア 15 (3)、特集「サイコネフロロジー55のキーワード」、p18-24
渡辺俊之：緩和医療で家族にかかわること 喪失体験と臨床を紡ぐ（解説/特集/抄録あり）	2008	10	緩和医療学 10 (4)、特集「緩和医療と家族ケア」 p352-358
渡辺俊之：障害者家族への関わりを持つ家族の精神力動	2007		家族看護 5(2)、特集「リハビリテーションにおける家族看護」、p89-96
渡辺俊之：就労の問題は家族のメンタルヘルスにどのように関係するか	2007	2	精神科治療学 22(2)、特集「今日の仕事・職場への精神科医の関わりⅡ」、p139-146
渡辺俊之：透析を拒否する	2007	6	臨床透析 23 (6)、特集「透析室における精神症状と行動異常」、p40-41
渡辺俊之：家族との協力が難しい一家族の視点から透析を理解するー	2007	6	臨床透析 23 (6)、特集「透析室における精神症状と行動異常」、p62-64
渡辺俊之：家族がいない	2007	6	臨床透析 23 (6)、特集「透析室における精神症状と行動異常」、p66-67
渡辺俊之：家族とパーソナリティ障害ー協同治療者としての家族ー	2006	12	こころのりんしょうアラカルト 25 (4)、特集「パーソナリティ障害」、白波瀬丈一郎、狩野力八郎編、p525-530
渡辺俊之：介護家族カウンセリングの実際	2008	6	家族心理学年報 26、家族心理学と現代社会、日本家族心理学会設立 25 周年記念号、
渡辺俊之：精神科診療における精神療法のあり方ー外来を力動精神医学的に理解するということー	2006	2	精神科 8 (2)、特集「精神療法の教育」、p148-154
渡辺俊之：徹底解説、ボーダーライン患者の心とは	2006	4	精神科看護 33(4)、特集「ボーダーラインとボーダーライン的につきあわあないコツ」、p12-19、
渡辺俊之：「介護家族」を理解する	2004	11	ケアマネージャー12、特集「家族とどのようにかかわるか」、p14-19
渡辺俊之：心気症状を有する患者の治療ー総論ー	2004	6	今月の治療 12(7)、特集「心の病気でみられる身体症状」、p37-40
渡辺俊之：統合失調症の精神科リハビリテーションと社会復帰	2004	3	医学と薬学 51 (3)、特集「統合失調症」、p413-420
保坂隆、渡辺俊之：精神疾患患者に対する理学療法の必要性	2003	12	理学療法 20 (11) p1109-1114
渡辺俊之：問題患者	2003	8	診断と治療 特集 「一般医のための精神症状とその対応」、p91-961
渡辺俊之：精神疾患患者に対する理学療法の必要性	2003	12	理学療法 20 (11)、 p1109-1114
渡辺俊之：日常臨床に生かす精神分析	2004	5	精神科 5(5)、特集「日常臨床に生かす精神療法」 p354-360

渡辺俊之：心気症状を有する患者の鑑別診断	2004	5	今日の治療 12 (7)、p37—40
渡辺俊之：精神分析の見地からみた不安	2004	8	精神科治療学 19 (8)、特集「パニック発作の鑑別」、p947-954
渡辺俊之：家族関係と障害受容	2003	9	総合リハビリテーション 31 (9)、特集「障害受容における相互作用」、p821-826
渡辺俊之：小児慢性疾患児の家族のメンタルヘルスマイナス感情とストレス管理—	2003	7	心臓をまもる 7、p14-18
市村 篤、渡辺俊之：自殺手段となりやすい向精神薬の種類と量	2003	4	救急・集中治療 15(5)、特集「救急・集中治療における精神的問題への対応」、p509-512
渡辺俊之：リハビリテーション看護でできる家族支援とは何か—家族のアセスメントとかかわり—	2003	5	リハビリテーション看護研究 7 特集「リハビリテーション看護と家族支援」 p2-9
渡辺俊之：医療における家族アプローチ	2004	8	家族療法研究 21(2)p94-98
渡辺俊之：介護家族という新しい家族	2003	12	現代のエスプリ 437、「介護家族という新しい家族」、渡辺俊之編、p24-39
渡辺俊之：精神分析からみた介護	2003	12	現代のエスプリ 437「介護家族という新しい家族」、渡辺俊之編、P105-115
渡辺俊之：介護家族カウンセリング	2003	12	現代のエスプリ 437「介護家族という新しい家族」、渡辺俊之編、P137-145
渡辺俊之：メディカルファミリーセラピーの誕生と現在	2004	12	家族療法研究 21(3)p254-259
渡辺俊之：問題患者	2003	8	診断と治療 91 (8)、特集「一般医のための精神症状とその対応」、p1387-1394
渡辺俊之：長期透析患者と家族との関係から学べること	2003	11	透析ケア 9 (11)、特集「長期透析患者の心に学ぶ」、p39-45
渡辺俊之：精神科疾患	2003	4	Journal of clinical rehabilitationten. 12、p336-343
渡辺俊之：ナースとの協力関係の作り方	2002	8	精神科 1、p148-153
渡辺俊之：生体腎移植における精神医学的問題	2002	11	腎と透析 53 (6)、特集「サイネフロロジー」、p743-747
渡辺俊之：家族ケアを行う訪問看護のストレスマネジメント	2002	7	訪問看護と介護 7、p445-452
			(No. 8) (氏名 渡辺俊之)
渡辺俊之：介護を必要とする家族の「生活」を診る	2002	3	月刊ケアマネジメント 3、p18-20
渡辺俊之：リエゾン精神医学とリハビリテーション	2002	11	医学のあゆみ 203、p841-p843

渡辺俊之：統合失調症（精神分裂病）のケア 1	2002	11	透析ケア 8(11)、特集「知っておきたい精神疾患をもつ患者のケア」、p18-22
渡辺俊之：メディカルファミリートレーニングに参加して—ジェノグラムと転移—	2002	12	家族療法研究 19 p275-276
渡辺俊之：抑うつ状態—診断と治療について—	2002	12	総合臨床 51 (12)、特集「脳卒中のリハビリテーション」、p3289-3294
渡辺俊之：生体腎移植における精神医学的問題	2002	12	腎と透析 53、p743-747
渡辺俊之：精神分析からみた抑うつ—対象喪失と悲哀の仕事	2002	5	臨床看護セクション 12、一般病棟でみられる抑うつと看護、p17-22
渡辺俊之：利用者の依存と自立に援助者はどう向き合うか	2002	3	月刊福祉 3、p90-93
渡辺俊之：ひきこもり民間相談機関へのコンサルテーション	2001	2	現代のエスプリ 403、「ひきこもり」、武藤清栄、渡辺健編、p 208-218
渡辺俊之：精神分析からみた抑うつ	2001	7	臨床看護 28、p1172-1176
渡辺俊之：人格障害のレシピエント	2001	5	透析ケア 7(5)、P57-64
渡辺俊之：精神症状に強くなる	2000	7	看護学雑誌第 64 巻 p 698-704、医学書院
渡辺俊之：生体腎移植の概念 その 1：経時的に見た生体腎移植	2000	7	透析ケア 6(7)、特集「スタッフのためのサイコネフロロジー」、p 946-951
渡辺俊之：生体腎移植の概念 その 2：心理的問題への介入	2000	8	透析ケア 6(8)、特集「スタッフのためのサイコネフロロジー」、p1086-1093
渡辺俊之：精神科チーム医療における作業療法の役割—チーム医療を促進させる構造と要素—	1999	9	精神科オキュペイショナルセラピー、p17-27
渡辺俊之、豊倉穰、児玉光彦：脳卒中患者の精神症状—リハ現場からのアプローチ うつ病へのアプローチ	1999	8	Journal of Clinical Rehabilitation 8、p216-221
渡辺俊之：術後せん妄と看護	1999	6	整形外科看護 4 (6)、p58-63
渡辺俊之：家族関係のとらえ方	1999	4	整形外科看護 4(4)、p66-71
渡辺俊之：治療者・患者関係について—看護者・看護関係について—	1999	3	整形外科看護4(3)、p61-64
渡辺俊之、保坂隆、狩野力八郎：コンサルテーション・リエゾン精神医学における評価	1998	5	精神科診断学 9(1)、特集「心身医療における評価をめぐって」、p77-88
渡辺俊之：生体腎移植患者の心理と家族力動	1998	6	現代のエスプリ 371、「先端医療と心のケア」、福西勇夫、岡田宏基編、p65-75
日原信彦、渡辺俊之：リハビリテーションにおける臨床心理学的アプローチ リエゾン精神医学(解説)	1997	2	総合リハビリテーション 25(7)、P645-650
渡辺俊之、山崎資晃：Psychosomatic disease 総論	1998	3	泌尿器外科 11(3)、p201-206

渡辺俊之：うつ状態をいかにとらえるか	1997	2	JIM7 (2)、特集「ポスト急性期ケアの質を高める 脳血管」、p117-119
渡辺俊之：透析医療におけるコンサルテーション・リエゾン活動（1）その対象と方法	1997	5	透析ケア 3(5)、p525-535
渡辺俊之：透析医療におけるコンサルテーション・リエゾン活動（2）実践	1997	6	透析ケア 3(6)、p635-646
渡辺俊之：抑うつ状態と躁状態における精神症状	1996	11	月刊ナーシング、特集「精神症状とそのアセスメント」 p86-89 学研
渡辺俊之：リハビリ患者の心理と意欲	1996	6	老人看護ぶらす介護 4 (4)、 特集「老年看護への家族看護論の応用」、p41-45
渡辺俊之：精神科医の仕事について	1995	8	治療 77 (8)、特集「精神科への疑問・精神科からの提言」、p14-19
渡辺俊之、保坂隆：対象喪失 事故で片足を切断した T さん	1990	10	別冊看護学雑誌、JNN スペシャル(18)、入院患者への心理的アプローチ、 P114-117